

(令和4年(2022年)秋掲載) 令和3年(2021年度)の学校経営計画及び学校評価 (高校部)

1. 目指す学校像

建学の精神である校訓三綱領の

- 『一、履正不畏(りせいふい)：自ら正しいと信ずることを、何ものにも恐れず勇気と責任を持って実践する。
二、勤労愛好(きんろうあいこう)：勉学に全力をつくし、人類の文化を継承発展させ、国家社会に貢献する。
三、報本反始(ほうほんはんし)：初心にかえり、自分の今日あるのは縁ある人々(ご両親や恩師)のお陰であり、常に感謝と報恩の念を持ち、行動の指針とする。』の訓えをもとに、知性と豊かな人間性を有し、次世代を担える生徒の育成。

2. 中期的(令和4年(2022年度)教育指導 重点目標

(1) 知育尊重と人間教育

1. 「学びを楽しむ」生徒の育成
2. ICTを用いて、生徒を魅了する教科指導
3. 進学指導の充実と進学実績の向上
4. 文武両道の推進・強化クラブの戦績向上

(2) 創立100周年に向け、優れた進学校私学履正社として更なる飛躍を目指すため、ニーズに応える信頼づくり

1. 生徒・保護者・中学校からの信頼づくり
2. 地域に信頼される学校づくり

(3) 環境・システムの醸成

1. 心豊かで潤いのある学校生活
2. 生徒主体の学校行事に一新

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析[令和3年(2021年度)度末実施]	学校運営協議会からの意見
<p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活は楽しい。 (R.3年(2021年度)度:80.6% R.2年(2020年度)度:73.4%) ・授業に先生方の熱意が感じられる。 (R.3年(2021年度)度:82.5% R.2年(2020年度)度:80.4%) ・行事は、生徒が楽しく参加できるように企画されている。 (R.3年(2021年度)度:76.6% R.2年(2020年度)度:64.0%) <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者としてこの学校に子供を通わせて満足している。 (R.3年(2021年度)度:80.0% R.2年(2020年度)度:76.7%) ・生徒の悩みや相談を聞いて、速やかに対応してくれる。 (R.3年(2021年度)度:70.0% R.2年(2020年度)度:66.7%) <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨今の学校教育内容そのものや、教育情勢・教育環境の変化に敏感に対応し、且つ進学校としてニーズに応える年間教育計画に基づいた授業実施に、各教科担当者は努めている。 (R.3年(2021年度)度:86.2% R.2年(2020年度)度:83.6%) ・学習内容は、クラスのグレード編成に応じて、効果的に展開されている。 (R.3年(2021年度)度:89.7% R.2年(2020年度)度:76.7%) <p>【学校運営全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒と保護者の全体質問(生徒:40問、保護者:38問)に対する肯定的回答比率(四捨五入で7割を肯定目途とする)は、生徒が前年比+7.5%の85%、保護者が前年比-5.3%の78.9%であった。 ・教員による自己評価では、全体質問で45問に対する肯定的回答比率(上記の生徒と保護者の尺度同様7割を肯定の目途とする)は、前年比+4.5%の77.8%であった。 	<p>*令和3年(2021年度)教職員による自己評価、及び生徒・保護者による関係者評価に基づき、昨年度と対比しながら総括する。</p> <p>【学校の満足度について】 生徒では「学校生活は楽しい」において前年度73.4%から令和3年度は80.6%と+7.2%であり、大幅に上昇した。 上昇の理由として考えられるのは、ICTの環境完備や、不要な校則の見直し、学校行事の活性化などが考えられる。 ICT環境整備に関しては、2021年の9月から全教室に電子黒板機能付きのプロジェクターとスクリーンを設置した。また、1学年には一人1台のタブレットを導入した。これらの授業支援システムにより、視覚的な補助が大きく、各授業が理解しやすくなり、生徒たちの学習意欲は向上している。 校則の見直しについても、2021年の6月より緊急時に対応するためスマートフォンの所持解禁や、9月からは頭髪規定の緩和など、「顧客満足度」に直結すべき内容に着手している。 2022年度からは教育システムを大きく変更し、「学びを楽しめる生徒づくり」を目指している。学藝コースの全クラス、放課後はクラブ活動やゼミ・帰宅研修などを自分で選択し、放課後の学習スタイルを自分で設計させる。</p> <p>【学校行事について】 学校行事が楽しく企画されているかについては、前年度64.0%で令和3年度は76.6%と+12.6%であり、大幅に上昇した。 上昇した理由としては、生徒会が主体となって、様々な意見を出し、学校行事を一新したことが大きな理由の一つと言える。 学校行事の活性化が、学校の満足度に大きく関与すると考えられるので、2022年度以降には現在の行事を魅力的なものに改訂したり、新たな行事を多数創設していきたい。 何よりも大切なことは「生徒が主体の学校行事」を数多く実施していくことである。</p> <p>【生徒への個別対応について】 保護者の「生徒の悩みや相談に速やかに対応してくれるか」においては、前度66.7%から令和3年度は70.0%と+3.2%であり上昇傾向となっている。 現在は生徒・保護者との連絡ツールであるclassiを全校利用しており、また上記にもあるように1学年はタブレット導入も行っているため、今までよりも悩みや相談を教員に対して伝えることへのハードルが下がっている状況にある。また、2022年度より「ネット担任制」を導入し、本格的に生徒一人一人の個別最適化を実現していく。</p>

3. 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指数	自己評価
(1) 知育尊重と人間教育	<p>1. 進学指導の充実と進学実績の向上</p> <p>あ) 2 い) 30 う) 38</p> <p>2. 生徒を集中させる熱意ある教科指導</p> <p>あ) 19 い) 21</p> <p>3. 文武両道の推進・強化クラブの戦績向上</p> <p>あ) 26・27 い) 34</p>	<p>1.</p> <p>あ)昨今の学校教育内容そのものや、教育情勢・教育環境の変化に敏感に反応し、且つ進学校としてのニーズに応える年間教育計画に基づいた授業実施に各教科担当は努めている。</p> <p>い)生徒に将来の進路に関心を持たせる進路指導(キャリアガイダンス)や教育(学年毎の進路説明会)が適切に行われている。</p> <p>う)生徒の実態・実情に即し、授業内容や教材について適宜職員間で意見交換をし、授業や指導に役立てるよう努めている。</p> <p>2.</p> <p>あ)教員は授業に対する十分な教材研究・事前準備に努めている。</p> <p>い)学習内容はクラスのグレード編成に応じて効果的に展開されている。</p> <p>3.</p> <p>あ)個々の生徒について状況などを把握する体制を整える。</p> <p>い)転・退学に至るまでに、担任・学年・場合に応じてクラブ指導者は家庭及び出身中学と十分連携を取り、適切な両輪指導に努めている。</p>	<p>1.</p> <p>あ) 80%以上</p> <p>い) 70%以上</p> <p>う) 60%以上</p> <p>2.</p> <p>あ)~い)の平均指数 80%以上</p> <p>3.</p> <p>あ)の平均指数 80%以上</p> <p>い) 80%以上</p>	<p>1.</p> <p>あ)昨年 2020 年度は 83.6%で、2021 年度は 86.2%であった。(○) 1つの問題を解くにあたって、思考力・判断力・表現力が必須となった昨今の入試問題に対応すべく、知識の詰め込みだけでなく、解答までの過程を重視した指導を行っている。</p> <p>い)昨年 2020 年度は 76.7%で、2021 年度は 72.4%であった。(△) 各大学の入学試験において、さまざまな入試形態が増設されている昨今に対応するため、昨年の入試動向や次年度の対策などきめ細かく説明会などを行っている。</p> <p>う)昨年 2020 年度は 61.6%で、2021 年度は 67.2%であった。(○) さまざまな生徒のニーズに対応するため、教員同士で授業の質を高め合えるよう、情報共有を行っている。</p> <p>2.</p> <p>あ・い)の平均指数は 87.1%【2020 年：82.9%, 2019 年：78.8%】と上昇している(◎)。本年度の平均値内容は、あ)No19：84.5%, い)No21：89.7%で両項目とも上昇しており、授業内容の活性化に繋がっているように感じられる。 あ)No19 の教材研究に工夫を凝らし、い)No21 への効果につなげていきたい。 評価が上がった要因の一つに ICT の本格的な導入があげられる。</p> <p>3.</p> <p>あ)2021 年度は前年比+7.3%の 88.8%と上昇している(○)。 い)2021 年度は前年比-1.5%の 86.2%と上昇している(△)。</p> <p>各強化クラブで、各個人に適切な指導を徹底するために、担任・教科担当とも密に連携をとることが肝要である。また、大学入試改革で、学科試験を伴う試験も増加する中、習熟度別クラス編成の効果がさらに期待できるように創意工夫をしていく。</p>
(2) りな創る立飛100周年を目指すため、ニーズに応える信頼づく	<p>1. 生徒・保護者・中学校からの信頼づくり</p> <p>あ)24・26・27・28・30・32 い)25・29・31・33 う)34</p> <p>2. 地域に信頼される学校づくり</p> <p>あ)11・12</p>	<p>1. 生徒・保護者には次のあ~い)の観点を信頼作りの基盤とする。また、生徒の出身中学校に対しては、う)の観点を信頼作りの基盤とする。</p> <p>あ)生徒の生活指導・進路指導・欠席過多の場合、組織的に対応する体制を整える。</p> <p>い)上記あ)に対する指導は、常に保護者と連携を取り学校と家庭の両輪で指導を行う。</p> <p>う)生徒の転・退学に至るまでの十分な指導と保護者・出身中学校との密な連携を常に心掛ける。</p> <p>2.</p> <p>あ)の観点では、地域住民に対し、施設・設備の貸し出しや、交流を積極的に図る。</p>	<p>1.</p> <p>あ)の平均指数 約 80%</p> <p>い)の平均指数 80%以上</p> <p>う)の平均指数 80%以上</p> <p>2.</p> <p>あ)の平均指数 80%以上</p>	<p>1.</p> <p>あ)の生徒・保護者に対する平均指数は昨年比+1.6%の 81.3%と、2021 年はほぼ例年通りであった(○)。次年度も機能充実に一層努めていく。</p> <p>い)の本年度平均指数は昨年比-3.8%の 84.9%であり、ここ数年は約 85%で推移している。学校と家庭との両輪指導の定着が窺われる(◎)。本年度の保護者アンケート 4&17(平均 77%)からも信頼度の数字的な検証ができる。</p> <p>う)2021 年度はほぼ昨年並みの 86.2%であった(◎)。転・退学のケースは残念なことであるが、生徒自身の将来を考慮する上で、時には、生徒の健康面などを考慮し、教育的観点より避けられない場合もある。担任や学年が家庭や出身中学校との連携を大切にしている結果であると評価する。</p> <p>2.</p> <p>あ)2021 年度は前年-3.1%の 81.9%であった。少し減少は見られるが、職員間に意識が浸透している。(○)。文化祭をはじめ、近隣小学生・住民参加型の年 1 回の天体観測会(中学部主催)や、生涯教育では施設貸与の上、指導者も本校職員で貢献していること、また、中高のクラブ活動での試合会場として貢献している等の実態を、職員が正しく理解し、協力していると評価する。</p>
(3) 環境・システムの醸成	<p>心豊かで潤いのある学校生活</p> <p>あ)6・7・8</p> <p>い)9・10</p> <p>う)17・18</p>	<p>あ)ホームページによる情報公開、学校・学年・学級から保護者への文書による情報提供や授業公開を定期的に行うなど、開かれた学校づくりに努める。</p> <p>い)危機管理マニュアルを踏まえ、警察・消防や関係機関との連携に努め、適切な校内訓練のシステムを構築する。</p> <p>う)環境教育の一環として、ゴミの分別・日々の清掃指導の徹底を図る。</p>	<p>あ)の平均指数 80%以上</p> <p>い)の平均指数 60%未満</p> <p>う)の平均指数 70%以上</p>	<p>あ)の平均指数は、2021 年度は昨年比で+2.7%で 85.6%となった。中高HPも一新され、classi の全校導入もあり、開かれた学校づくりが加速度的に充実してきていると感じられる(◎)。</p> <p>い)の平均指数は、2021 年度は前年比-6.2%の 59.4%であった。(×)。これは、コロナ禍の中で避難訓練ができなかったことが要因の一つと考えられる。訓練のみではなく、常に生徒の安全を守る為に、災害の多い近年の大きな課題として、さらに学内での体制を整えていかなければならない。</p> <p>う)の平均指数は、2021 年度は前年比+5.6%の 78.2%であった(○)。公共の施設を、自らの手で、美しく保とうと日々気持ちを平素より常に持つことが肝要である。新しい校舎を自分たちで美しく保ち、心地よい環境、過ごしやすい環境こそ人をつくるものである事に気づかせ、教員が先頭に立って、環境の大切さを生徒達に徹底していきたい。</p>